

2010.2.20



名指揮者スウィトナーを偲んで



プログラム

今年1月8日、旧東ドイツで活躍した名指揮者、オトマール・スウィトナーが亡くなりました。享年87歳。1922年、オーストリアのインスブルック生まれ。1960年にドレスデン国立歌劇場およびドレスデン・シュターツカペレの音楽監督、1964年からはベルリン国立歌劇場およびベルリン・シュターツカペレの音楽監督となり、1990年までその地位にありました。日本には1971年にNHK交響楽団の招聘で初来日。73年に名誉指揮者となり、以後毎年のように日本を訪れていました。スウィトナーの本領はオペラにあったと思いますが、オーケストラ作品でも伸びやかで澁澁とした音楽運びに魅力がありました。今日はスウィトナーを偲んで日本に残したライブ音源の中から選りすぐりの演奏をお聴き頂きたいと思います。

ウォルフガング・アマテウス・モーツァルト (1756~1791): 交響曲第35番ニ長調K.385 “ハフナー”

オトマール・スウィトナー指揮ベルリン国立歌劇場管弦楽団
(1981. 6.7 神奈川県民ホールでのLive) 【米倉ライブラリーから】

カール・マリア・フォン・ウェーバー (1786~1826): 歌劇 “魔弾の射手” 序曲

オトマール・スウィトナー指揮NHK交響楽団
(1988.3.4 NHKホールでのLive)



リヒャルト・ワーグナー (1813~1883): 楽劇 “ニュルンベルクのマイスタージンガー” から

第一幕への前奏曲 ~ 第一幕 “聖カタリーナ教会の中” 冒頭
第三幕 “朝はばら色に輝いて” ~ フィナーレ

テオ・アダム (バリトン) / ライナー・ゴルトベルク (テノール) /
ジークフリート・ロレンツ (バリトン) / ジークフリート・フォーゲル (バス)
マグタレーナ・ファレヴィッチ (ソプラノ) / ペーター・シュライアー (テノール)
オトマール・スウィトナー指揮ベルリン国立歌劇場管弦楽団及び合唱団
(1987.4.5 NHKホールでのLive)

*** 休憩 ***

ヨハン・シュトラウス二世 (1825~1899): アンネン・ポルカ

オトマール・スウィトナー指揮ベルリン国立歌劇場管弦楽団
(1981. 6.7 神奈川県民ホールでのLive) 【米倉ライブラリーから】

ウォルフガング・アマテウス・モーツァルト (1756~1791): 歌劇 “フィガロの結婚” 序曲

アントニン・ドヴォルザーク (1841~1904): 交響曲第8番ト長調op.88

オトマール・スウィトナー指揮ベルリン国立歌劇場管弦楽団
(1978.11.9 新宿厚生年金会館大ホールでのLive)